

山口情報芸術センター [YCAM]

バック・トゥ・バック・シアター演劇公演 影の獲物になる狩人

2023年10月14日(土) 19:00開演、10月15日(日) 14:00開演
山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

オーストラリア発

バック・トゥ・バック・シアターが山口に初登場！

山口情報芸術センター [YCAM] では、オーストラリアを拠点に活動する劇団、バック・トゥ・バック・シアターによる演劇作品《影の獲物になる狩人(原題: The Shadow Whose Prey the Hunter Becomes)》の関西以西では初となる公演を開催します。

バック・トゥ・バック・シアターは、知的障がいのある俳優たちを中心に結成された劇団で、国内外で30年以上に渡り表現活動をおこなってきました。さまざまな個性をもつメンバーが描き出す唯一無二の作品は、これまで国際的に高い評価を得ています。

約5年振りとなる来日で上演する本作ではキーワードとして「AI」が取り上げられます。劇中で開かれる集会で、登場人物たちは人間に対するAIの脅威を語ります。その過程で人権や性、集団として下す決定に対する責任など、わたしたちの市民社会の根幹に疑問を投げかけていきます。

メディアテクノロジーによって新たに生み出されつつある社会の隠れた側面を、コミカルかつ、鋭く描き出す本作は、近未来におけるテクノロジーや、個人と社会の関わりについて深く考えるきっかけとなるでしょう。どうぞご期待ください。



©Jeff Busby

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課 広報担当

TEL: 083-901-2222 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



演劇の拡張を試みる、実験的表現の数々



ローレン・リー・マッカーシー+カイル・マクドナルド
『アンラーニング・ランゲージ』(2022年) 撮影:山中慎太郎 (Qsyum!)

YCAMにおける、展覧会や映画上映と並ぶ活動の柱が、ダンスや演劇などのパフォーミング・アーツ作品の上演です。パフォーミング・アーツというジャンルを更新するような挑戦的な表現、特にメディア・テクノロジーを通じて舞台という空間、そして身体のある方を揺るがすような表現に注目し、開館以来、アーティストと協働しながらメディア・テクノロジーを応用した新作の制作をおこなうとともに、国内外の優れた作品を紹介してきました。

過去には、マシュマロ・レーザー・フィーストによる人間とは違う生物の視覚を追体験できるVR作品《もしも、森のいきものになったら》(2016年上演)や、アント・ハンプトン+ティム・エッチェルスによる本を読むことに驚きと奥深さを見せる、図書館を会場にした体験型の演劇作品《The Quiet Volume (ザ・クワイエット・ボリューム)》(2014年上演)など、国内ではなかなか見ることのできない貴重かつジャンル横断的な作品を上演しました。

今回招聘するバック・トゥ・バック・シアターは、知的障がいのある俳優たちを中心とした劇団で、30年以上にわたりオーストラリアのジーロングを拠点に演劇作品だけでなく、映像作品の発表や書籍の出版など多岐にわたる活動をしてきました。また「CAMP」と呼ばれるワークショップを開催し、専門知識のない人も、また障がいのある人ない人も参加できるワークショップを通じて、演劇制作の体験を共有しています。YCAMでも公演に合わせて、メンバーによるトークとワークショップを開催。彼らの活動についてさらに知ることができる貴重な機会です。

バック・トゥ・バック・シアター Back to Back Theatre

BACK
TO
BACK
THEATRE

オーストラリア南東部のビクトリア州のジーロングを拠点に活動するバック・トゥ・バック・シアターは、オーストラリアを代表するカンパニーとして、国内外にその名を知られている。知的障がいのある俳優たちで構成される同カンパニーは、オーストラリアが海外にほこる重要な文化財とみなされている。

2009年から2022年の間に、世界でも有数なアート・フェスティバルや劇場での上演およびスクリーニングを含む、国内で83カ所、国外では116カ所にてシーズン公演をおこなう。2009年以降、芸術の素晴らしさとインクルーシブをテーマにしたワークショップも展開。現在までに34,000人を超える参加者と体験を共有してきた。

国際イプセン賞、ヘルプマン賞オーストラリア最優秀作品、エディンバラ国際フェスティバル・ヘラルド・エンジェル批評家賞、エージ批評家賞、ベッシー賞、オーストラリア演劇界への長きに渡る貢献を称えるシドニー・マイヤー・パフォーミング・アーツ・アワード・グループ賞を含む、22もの国内外の賞を受賞。2015年には、芸術監督であるブルース・グラッドウィンが、オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツが卓越した演劇人に贈る最優秀演劇賞(発足初年度)を受賞。2019年には、グリーンルーム賞最優秀アンサンブル部門をカンパニーが受賞している。

日本では2013年にフェスティバル/トーキョーの招聘した「ガネーシャ VS. 第三帝国」で初公演。また国際芸術祭あいち2022では《ODDLANDS》、《SHADOW》の2つの映像作品が上映され話題を呼んだ。今回は2018年に東京芸術劇場で上演された《スモール・メタル・オブジェクト》以来、5年ぶりの来日公演となる。

クールで突き刺さる演劇



《影の獲物になる狩人》(チューリッヒ公演/2022年)

穏やかで温和な会議にしましょう。お互いを尊重するように。
個人攻撃はしないこと。
事を荒立てないように。

——サイモン

本作《影の獲物になる狩人》には劇中のトピックとしてAIが登場します。劇中に登場する障がいのある3人の活動家たちが周辺の住民を集めてミーティングを開きます。ここからAIの人類に対する脅威についてという、いかにも現代風の話題が展開しますが、これは実は物語を構成する一部でしかなく、劇中、音声認識をするAIが登場することで、テクノロジーはより大きなテーマを浮かび上がらせるための巧妙なきっかけであることが判明します。

本作は、社会にとって最善の選択のために、私たちはそれぞれどのような責任を持ち、団結すればいいのかを問いかけます。登場人物たちの一見するとコミカルなやり取りの中に、差別の歴史、性をめぐる権力構造など、冷徹な視線が浮かび上がります。社会における狩人とは誰なのでしょう？そして、狩人が一転して狩られる立場になったとき、何が見えてくるのでしょうか？

優れて挑発的な本作は、バック・トゥー・バック・シアターが自ら語るように「私たちが私たち自身や他の人たちに対して持っている前提」を力強く揺り動かしていきます。それは「演劇で可能なこと」という、普段私たちが演劇を見るときに期待している「何か」を超えていくような彼らの挑戦でもあるのです。

影の獲物になる狩人

The Shadow Whose Prey the Hunter Becomes

2019年初演

作：Mark Deans, Michael Chan, Bruce Gladwin, Simon Laherty, Sarah Mainwaring, Scott Price, Sonia Teuben

演出：Bruce Gladwin

出演：Simon Laherty, Sarah Mainwaring, Scott Price

開催概要

バック・トゥ・バック・シアター演劇公演 影の獲物になる狩人

2023年10月14日(土) 19:00開演、10月15日(日) 14:00開演

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

上演時間：約60分 上演言語：英語(日本語字幕あり)

未就学児童入場不可

ご鑑賞に際して

- 車椅子でご来場の方、上演中に客席から会場外へ出やすい席をご希望の方、ヒアリングループ(補聴システム)をご利用の方は、チケットご購入時にお知らせください。
- 多目的トイレはスタジオAに1カ所、YCAM内にもう1カ所あります。
- 公演当日はスタジオAロビーに休憩スペースを設けます。鑑賞中に休憩が必要になった場合など、ご自由にご利用いただけます。
- その他、公演内で必要なサポート、ご不明な点がございましたらお問い合わせください。公演外でのサポートが必要な場合は、介助者と一緒に来場ください。

主催：公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会、オーストラリア大使館

協力：一般社団法人HAPS (Social Work/Art Conference)、一般財団法人たんぼの家(障害とアートの相談室)

技術協力：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

関連イベント

ポストトーク

10月14日(土) 公演終了後 会場：スタジオA

参加無料(要公演チケット) 通訳あり

登壇：ブルース・グラッドウィン(バック・トゥ・バック・シアター芸術監督)、長津結一郎(九州大学大学院芸術工学研究院准教授)

ワークショップ

ブリトニーの無意識

10月12日(木) 19:00～21:00

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB

参加無料(要申込) 通訳あり

定員：12人 対象：10歳以上

講師：ブルース・グラッドウィン(バック・トゥ・バック・シアター芸術監督)、およびバック・トゥ・バック・シアターの俳優

バック・トゥ・バック・シアターの創作過程を垣間見れるワークショップです。

※途中入退場可能 ※体を動かしたり、会場内を移動します。

※付添の方も一緒に参加いただけますので、お申込み時にその旨をお知らせください。

※イベント内で必要なサポートがあればお知らせください。イベント外でのサポートが必要な場合は、介助者と一緒に参加ください。

チケット情報

発売日：8月12日(土) 10時～

チケット料金【全席指定】：

前売

一般 3,000円

any 会員/ 特別割引 2,500円

25歳以下 2,000円

当日

一律 3,500円

※特別割引：シニア(65歳以上)、障がいのある方(同行の介助者1名は無料)

※ご購入後の返金不可

※前売券の販売は10月13日(金) 19:00まで

※未就学児不可

チケット購入方法はYCAMのウェブサイトをご確認ください。

ウェブサイト：

www.ycam.jp

託児サービス

10月7日(土)までにチケットインフォメーションまでお申込(有料)

関連イベントの申込方法

YCAMのウェブサイトまたは、YCAM1階の山口市文化振興財団チケットインフォメーションにてお申し込みください。

申込受付開始日：8月5日(土)

ウェブサイト：

www.ycam.jp

京都公演

KYOTO EXPERIMENT 2023

2023年10月7日(土)、8日(日)

ロームシアター京都 サウスホール